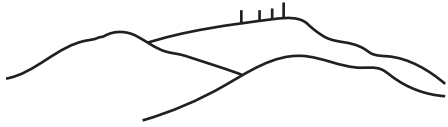


# Youth Manna

2021/11/1 - 11/7



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/11/1(月)

## ヨブ記 21 章

ツォファルはヨブに「あなたがこの苦しみには遭っているのは、彼が不正な富を得ていたからではないか (20:19,20)」と話した。ヨブはこれを「私を損なおうとする企み (27 節)」としている。そして、現実を見ると、悪い者であっても神はすぐには裁かれず、むしろ「わざわいの日を免れ (30 節)」ているではないか。事実、悪者の葬式には多数の人が参列しているではないか (32-33 節)。これが現実だ、とヨブは語る。

確かに、世の中を見渡してみると「何故こんな不法が蔓延しているんだろう」「何故この人は生きながらえているんだろう」と思えることがある。けれども、イエスは皆につばきをかけられ、蔑まれながら自分の使命を全うした。今日 1 日、自分の思い通りにならないことがあったとしても、自分がやるべきこと、語るべきことは何かということを考えて過ごしてみよう。

2021/11/2(火)

## ヨブ記 22 章

中々悔い改めようとしめないヨブに対してエリファズの言葉はキツくなっている、あなたの罪があまりにも大きいから今裁かれていると指摘し (5) 理由もなく兄弟や飢えている人、やもめ、みなしご達を助けなかったと言っています。

そのような具体的な悪をヨブが行ったとは考えにくいけど、実は神に祈ることに意味を持たなくなり (21:15) 自分の方が正しいと思う心の高慢さという罪がありました。エリファズの言葉はキツくてヨブには届かなかったけど、神に立ち返れば (悔い改めれば) 赦されるという真理も語られていました。(21-30)

● どんなに自分が正しいと感じても実は隠されている罪が自分の中にないだろうか？

● 赦して下さいの神様の愛を思い祈ろう！！

2021/11/3(水)

## ヨブ記 23 章

前章で、エリファズはヨブが悪者を虐げていると、根拠もなく責め立てた。ヨブはもはやエリファズへの反論を諦め、この箇所はヨブの独り言のようにになっている。

ヨブは、神に沈黙され、どうやって神に近づいたら良いかわからないと言う。神の前に出て訴えれば正しさを認めてくれるだろう。しかし、神を見つけることができないことが問題だとヨブは嘆く (1-9)。また、神が私を試されるなら、私が純粋なものであることがわかるはずだと、自分は忠実な信仰者だったと語る (11-12)。しかしこの辛い状況は神が定められたことだ。理由がわからず、うろたえることしかできないとヨブは嘆き続けている。

苦難のなかにあってヨブは神に叫び続けた。辛い状況にあるとき、神様に心を向けていられるよう祈ろう！

2021/11/4(木)

## ヨブ記 24 章

ヨブは今日の章で、悪物が必ず滅びて、正しい者が栄えるということに対して反論している。ヨブの状況を考えれば無理もないように感じるが、、ただヨブは信仰を捨てたわけではなく、ただ事実を述べて嘆いているのである。ある面でヨブは、この世の現実をよく知りながらも、それに流されずに神様を恐れる生き方を貫いていたことが分かる。

悪者がのさばり、正しい者から搾取して悠々と生きてるように見えることはないだろうか？ 実際、世の中はそれがまかり通っているが、どんな人にも必ず神様が定めた終わりがある。

神様が沈黙しているように思える時、君はどんな気持ちになるだろう。みことばから、神様についての確信を持とう！

2021/11/5(金)

## ヨブ記 25 章

この章は友からの最後の語りかけだね。わずか 6 節だけの短い箇所なのは、もう語ることが尽きてしまったからなのかもしれない。だけど、ビルダデの語る神の主権と人の罪深さは、その通りのことだ。人は神の前に虫けらでしかないし、どんなに努力しても、人は決して神の聖さに届き得ない。

だけど、そのような私たちを高価で尊いと言い、イエス様が罪の身代わり十字架にかかってくださった。罪赦されて、罪の奴隷から神の子とされた恵みを、僕らはどれほど感動を持って受け取れているだろうか。

小さな私たちに、今も神様が天の父として目を向けてくださっていることを覚えて、今日を生きよう！

2021/11/6(土)

## ヨブ記 26 章

今日と明日の箇所、友だちの言葉に対してヨブが答えているね。神様の力の偉大さや、人の不完全さを教えてくれる友だちに対して、ヨブはそんなことは分かっている、逆に友だちの考えの浅い部分を指摘している。

ある意味友だちの言っていることは正しかったけど、ヨブの状況はその言葉を受け入れることができるものではなかったんだね。そして、ヨブ自身もまた友だちよりも上からの目線で語っている、神様の心や愛を受け取る余裕がないほどヨブが大変な中であつたのが分かるよね。

私たちにも困難な時、神様の偉大さに目を向けられない人としての弱さがあることを学ぼう。今、神様の臨在の中でその大きさを静まって味わう時間をとろう。

2021/11/7(日)

## ヨブ記 27 章

ヨブのここでの主張は、単に自分が道徳的に正しいと言っているのではなく、自分は神様の命令に生きている正しさの中にあるということでした。

また 13 節以降では悪人の結末について語っています。この点においてヨブは友人たちの語ったことに同意しているけれど、ここでヨブが問題にしているのは、罪人に対する神様の取り扱いではなく、神様に義とされた罪人への神様の取り扱いの事です。罪を認め、神様と和解したにも関わらず、神様が背を向けてしまったかのような状況に置かれる、神様を信じる人の苦悩のことです。

みんなは「神様はどうしてこんな苦しいことを私に対してするんだろう」って思うことあるかな？ そんな時は簡単に自分で答えを決め付けず、まず神様に祈り、神様の言葉に耳を傾けて、聖書を聞いてみよう！